

The 40th Japan Wind and Percussion Competition

2025年 第40回 日本管打楽器コンクール

《開催要項》

内閣総理大臣賞（予定）・文部科学大臣賞・東京都知事賞
全部門の第1位に文部科学大臣賞・東京都知事賞を授与

開催部門

サクソフォン・ホルン・ユーフォニアム・パーカッション



JAPAN WIND
AND
PERCUSSION
COMPETITION

■開催期間

2025年8月5日（火）～8月23日（土）
第一次予選・第二次予選・本選

■開催会場

サクソフォン部門：東京音楽大学
ホルン部門：昭和音楽大学
ユーフォニアム部門：尚美ミュージックカレッジ専門学校
パーカッション部門：武蔵野音楽大学

■特別大賞演奏会及び表彰式

日時：2025年9月3日（水）
会場：東京藝術大学奏楽堂
共演：藝大フィルハーモニア管弦楽団
指揮：山下 一史

Japan Musical Education and Culture Promotion Society
主催：公益財団法人日本音楽教育文化振興会

2025年 第40回日本管打楽器コンクール

—開催趣旨—

公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで管楽器及び打楽器の各分野から、国際的視野に立ち有能なソリストを発掘し、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的とするものです。

—ご挨拶—

「日本管打楽器コンクール」は、1984年に第1回を開催して以来、全管打楽器部門を実施している世界で稀有なコンクールの存在として多大な評価をされており、若き演奏家の登龍門としてこれまで輝かしい成果を収めて参りました。今日までの実績は、参加者23,000名を超え、海外及び日本国内のオーケストラ団員を400名以上輩出、アンサンブル・プレイヤー並びに吹奏楽指導者は数知れず、また多くの方々が海外での演奏活動をされています。

これまで多くの実績・成果を挙げているコンクールとしての評価を賜り、特別大賞演奏会及び表彰式にて、文部科学大臣賞と東京都知事賞を各開催部門第1位入賞者4名に対して、それぞれ授与する運びとなっております。

また今回は、特別協力を賜りサクソフォーン部門は東京音楽大学、ホルン部門は昭和音楽大学、ユーフォニアム部門は尚美ミュージックカレッジ専門学校、パーカッション部門は武蔵野音楽大学の4会場で開催させていただきます。

若き演奏家の本コンクールへの積極的な参加と関係各位のご声援を心からお願いいたし、ご挨拶申し上げます。

公益財団法人 日本音楽教育文化振興会
会長 赤松 昌代

■開催日時・会場スケジュール

※運営状況により、開催時間が前後する可能性がありますので予めご了承下さい。

○サクソフォン部門 会場：東京音楽大学 中目黒・代官山キャンパス（東京都目黒区上目黒 1-9-1）

（第一次予選・第二次予選・本選：TCM ホール）

第一次予選	2025年8月18日（月）～20日（水）	9：00～
第二次予選	2025年8月21日（木）～22日（金）	9：00～
本選	2025年8月23日（土）	13：00～

○ホルン部門 会場：昭和音楽大学（神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-11-1）

（第一次予選・第二次予選：汎用スタジオ／本選：ユリホール）

第一次予選	2025年8月 6日（水）～ 7日（木）	9：00～
第二次予選	2025年8月 9日（土）	9：00～
本選	2025年8月10日（日）	13：00～

○ユーフォニアム部門 会場：尚美ミュージックカレッジ専門学校（東京都文京区本郷 4-15-9）

（第一次予選・第二次予選・本選：バリオホール）

第一次予選	2025年8月 5日（火）～ 6日（水）	9：00～
第二次予選	2025年8月 8日（金）	9：00～
本選	2025年8月 9日（土）	13：00～

○パーカッション部門 会場：武蔵野音楽大学 江古田キャンパス（東京都練馬区羽沢 1-13-1）

（第一次予選・第二次予選・本選：ブラームスホール）

第一次予選	2025年8月12日（火）～13日（水）	9：00～
第二次予選	2025年8月15日（金）	9：00～
本選	2025年8月16日（土）	14：00～

○特別大賞演奏会及び表彰式

日時	2025年9月 3日（水） 13：30～
会場	東京藝術大学奏楽堂（東京都台東区上野公園 12-8）
指揮・共演	山下 一史 / 藝大フィルハーモニア管弦楽団

特別大賞演奏会 リハーサル（各開催部門第1位入賞者及びオーケストラ）
2025年9月1日（月）・2日（火）2日間（非公開）

■後 援

文部科学省、外務省、駐日韓国大使館 韓国文化院、東京都、文京区、文京区教育委員会、練馬区、練馬区教育委員会、台東区、台東区教育委員会、目黒区、川崎市、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、他（順不同）

■特別協力

東京藝術大学、東京音楽大学、昭和音楽大学、武蔵野音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校（順不同）

■協 力

一般社団法人日本サクソフォン協会、日本ホルン協会、日本ユーフォニアム・チューバ協会
(順不同)

■協賛大学

京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、国立音楽大学、桐朋学園大学音楽学部、東邦音楽大学、尚美学園大学、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽学部、くらしき作陽大学音楽学部、エリザベト音楽大学、他（順不同）

■協賛企業（予定）

株式会社図書出版、きらぼし銀行春日町支店、株式会社ヤマハミュージックジャパン、野中貿易株式会社、株式会社ビュッフェ・クランボン・ジャパン、株式会社ドルチェ楽器、株式会社セントラル楽器、株式会社プリマ楽器、柳澤管楽器株式会社、パール楽器製造株式会社、株式会社こおろぎ社、株式会社コマキ楽器、株式会社石森管楽器、ブレーン株式会社、株式会社フォトライフ、他（順不同）

■表彰及び賞金

○内閣総理大臣賞（予定）：（特別大賞授賞者）

日本管打楽器コンクールの各開催部門第1位入賞者が特別大賞演奏会にて、各開催部門審査委員長及び特別審査委員により特別大賞を決定します。特別大賞授賞者には、内閣総理大臣賞（予定）が授与されます。特に「内閣総理大臣賞（予定）」につきましては、意義のあるコンクールとして評価され、多くの実績・成果を挙げている本コンクールならではの権威のある賞です。

○文部科学大臣賞：（各開催部門第1位入賞者）

特別大賞演奏会表彰式にて、各開催部門第1位入賞者4名に、文部科学大臣賞が授与されます。

○東京都知事賞：（各開催部門第1位入賞者）

特別大賞演奏会表彰式にて、各開催部門第1位入賞者4名に、東京都知事賞が授与されます。

○別賞：（特別大賞演奏会 聴衆賞）

特別大賞演奏会に出演した各開催部門第1位入賞者の中から選ばれ、聴衆の投票により特に感銘を受けた奏者に贈ります。

○賞金（各部門）

第1位 70万円 第2位 30万円 第3位 10万円 入選 5万円（4位、5位）

審査規定により、本選に入賞した各部門の入賞者には、審査委員署名入りの賞状及び上記の賞金を贈呈します。

■運営役員及び審査委員

運営委員長	尾高 忠明	（NHK交響楽団正指揮者）
運営副委員長	石渡 悠史	（一般社団法人日本サクソフォーン協会顧問）
	桑原 浩	（公益社団法人日本オーケストラ連盟参与）
運営参与	吉井 實行	（公益社団法人日本演奏連盟常任理事）
運営実行統括	石渡 悠史	（一般社団法人日本サクソフォーン協会顧問）
運営実行委員長	井上 順平	（日本トロンボーン協会顧問）
運営実行副委員長	高久 進	（一般社団法人日本フルート協会常任理事）
運営委員	須川 展也	（東京藝術大学招聘教授）
	山岸 博	（洗足学園音楽大学名誉教授）
	露木 薫	（名古屋音楽大学教授）
	吉原 すみれ	（武蔵野音楽大学特任教授）

■各審査委員一覧（五十音順に掲載）

○サクソフーン部門

審査委員長	須川 展也	(東京藝術大学招聘教授)			
審査委員	池上 政人	(日本サクソフーン協会会長)	大石 将紀	(大阪音楽大学特任准教授)	
	大城 正司	(沖縄県立芸術大学講師)	小串 俊寿	(東京音楽大学教授)	
	貝沼 拓実	(洗足学園音楽大学准教授)	平野 公崇	(愛知県立芸術大学講師)	

○ホルン部門

審査委員長	山岸 博	(洗足学園音楽大学名誉教授)			
審査委員	阿部 雅人	(沖縄県立芸術大学副学長)	竹村 淳司	(群馬交響楽団首席)	
	中島 大之	(昭和音楽大学教授)	樋口 哲生	(昭和音楽大学名誉教授)	
	久永 重明	(読売日本交響楽団)	丸山 勉	(武蔵野音楽大学准教授)	

○ユーフォニアム部門

審査委員長	露木 薫	(名古屋音楽大学教授)			
審査委員	岩黒 綾乃	(東京佼成ウインドオーケストラ)	大房 美穂	(武蔵野音楽大学講師)	
	木村 寛仁	(大阪音楽大学教授)	後藤 文夫	(尚美学園大学芸術情報学部教授)	
	庄司 恵子	(シエナ・ウインド・オーケストラ)	三宅 孝典	(徳島文理大学音楽学部教授)	

○パーカッション部門

審査委員長	吉原 すみれ	(武蔵野音楽大学特任教授)			
審査委員	石井 喜久子	(洗足学園音楽大学教授)	石内 聡明	(昭和音楽大学客員教授)	
	久保 昌一	(NHK交響楽団首席)	幸西 秀彦	(国立音楽大学教授)	
	杉山 智恵子	(東京藝術大学音楽学部講師)	中谷 満	(相愛大学大学院音楽研究科教授)	

○特別審査委員

池辺 晋一郎	(作曲家)	岩野 裕一	(音楽評論家)
梅田 俊明	(指揮者)	迫 昭嘉	(ピアニスト)
三浦 章宏	(ヴァイオリニスト)		

■参加の手続きについて

- 参加資格 1987年（昭和62年）4月2日以降に出生の者。
ただし、このコンクールで過去に第1位入賞者の参加は認められません。
- 募集人員 サクソフーン部門 270名 ホルン部門 160名
ユーフォニアム部門 130名 パーカッション部門 120名
- 受付期間 2025年5月8日（木）～6月6日（金）（当日の消印まで有効）
※定員になり次第締め切ります。
※オンラインによる申込みの開始は、5月8日（木）15時からとなります。
- 申込方法 参加希望者は（A）郵便申込み、（B）オンライン申込みのいずれか一方を選択し、受付期間内に申込みを完了して下さい。参加承認の通知受領後、⑤の支払いをして下さい。
※1つでも不備がある場合は、受付出来ませんのでご注意ください。

	(A) 郵便申込み	(B) オンライン申込み
①申込み	申込書（別紙）に規定事項を記入し、送付先に郵送して下さい。申込書はホームページからダウンロードすることもできます。 URL：www.jmecps.or.jp/	ホームページよりオンライン申込みを行って下さい。URL：www.jmecps.or.jp/
②出演者並びに伴奏者の写真または高画質データ	出演者並びに伴奏者の写真各1枚を、申込書の指定箇所に貼って下さい。 ※上半身・正面から撮影したものを使用して下さい。 ※申込日より、6ヶ月以内に撮影したものに限りです。 ※写真の大きさは、縦50mm×横40mmのものとしします。 ※画像データは、700×1000ピクセル以上のものをアップロードして下さい。 ※印刷物やHPに使用しますので、著作権による制限がないものを送付して下さい。	オンライン申込みの際に、各写真をアップロードして下さい。
③生年月日が証明できる書類	申込書と同封して送付先に郵送して下さい。 ※学生証・パスポート・免許証・健康保険証・住民票・マイナンバー等のコピーを送付して下さい。 ※有効期限が切れているものは、書類不備とします。	オンライン申込みの際に、証明書類をアップロードして下さい。
④その他	返信用封筒（長3サイズ）2部に郵便番号、住所、氏名を表記し、110円切手を貼付し同封下さい。	
送付先	〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-9 公益財団法人日本音楽教育文化振興会 日本管打楽器コンクール事務局 TEL：03-3814-2977 ※封筒表面左下に必ず部門名を記入すること。	
参加承認可否の連絡	申込書類を確認次第、参加承認可否の通知を郵送します。	申込書類を確認次第、参加承認可否の通知をメールします。
	※各部門とも先着順で申込みを受付、定員になり次第締め切らせて頂きます。 ※書類不備の場合は受付出来ません。書類が揃ってから受付となります。	

⑤参加料の振込み	参加承認通知の受領後、 <u>7日以内に参加料35,000円を指定銀行口座に振込みをして下さい。</u>
	<p>※手数料は本人の負担とします。</p> <p>※期日までに参加料が支払えない場合は、不参加とみなす場合があります。</p> <p>※参加料はいかなる理由があっても返還しません。</p> <p>※参加料の納付をした時点で参加の決定とさせていただきます。</p>
出場者カードの発行	演奏の日時は、運営委員会により開催部門ごとに決定され、7月上旬から中旬頃、出演番号、集合時間、演奏時間等を記載した出場者カードを郵送します。
	<p>※縦50mm×横40mmの写真を必ず貼り、当日受付に提示して下さい。</p> <p>※写真が貼っていない出場者カードは、参加出来なくなる場合があるので、十分ご注意下さい。</p>

- 参加者の義務 運営委員会より指定された日時並びに開催楽器部門会場の所定の場所に出場者カードを持参し、伴奏者同伴にて集合をして下さい。尚、参加当日、棄権の場合はご連絡下さい。
- 旅費・滞在費 参加地への往復旅費及び滞在費は、参加者の個人負担とします。
- 演奏の方法
 - (1) 演奏方法については本要項の課題曲の注意事項に遵守するものとします。
 - (2) 演奏時間については、運営委員会の指示に従って行います。
 - (3) 第一次予選・第二次予選・本選は一般無料公開とします。
- 伴奏

ピアノ伴奏者は参加者が第一次予選・第二次予選・本選とも用意し、写真・連絡先を添付の上、各申込みに明記して下さい。

尚、ピアノ伴奏者の譜めくりは、参加者でご用意下さい。

※伴奏者変更の場合は、事前に伴奏者変更申請書にて変更の手続きを要します。

※オンライン申込みの方のみ、ホームページから変更が可能です。

伴奏者変更申請書の締め切り：2025年7月30日（水）必着
- 審査方法

審査は第一次予選・第二次予選を経て、本選にて入賞を決定します。

また、入賞者による特別大賞演奏会の審査に関しては運営委員会です。
- 注意事項
 - (1) 購入していない楽譜の使用は、著作権上の問題が生じますので使用を禁止します。
楽譜の使用については参加者・伴奏者ともに紙媒体のみとします。（電子機器類の使用不可）
 - (2) 申込み後の課題曲・選択曲の変更は認められません。
 - (3) 参加者は、他の楽器部門の日程を把握した後、伴奏者へ依頼を行って下さい。
 - (4) 本コンクールはすべて日本語での開催となります。通訳等の対応はしておりませんので、参加者が必要に応じて用意をして下さい。
 - (5) 開催期間に自然災害（台風等）が発生し、各交通機関が計画運休した場合は、止むを得ず開催日の前後に振替える場合がありますので予めご了承下さい。
 - (6) 本コンクールの入賞者は、本財団主催以外の演奏会並びに企業企画の催物・広告等に演奏・参加する場合は、2025年9月3日より向こう1年間、本財団の事前了解を得なければなりません。
 - (7) 本コンクールに伴うすべての演奏に関して、下記のすべての権利は主催者の公益財団法人日本音楽教育文化振興会に帰属します。また、主催者がこれを利用することについて異議を述べることはできません。
 1. 演奏の録音・録画・撮影をすること。
 2. 録音・録画をラジオ・テレビ等での放送をすること。
 3. 録音・録画を主催者ホームページにて掲載・紹介すること。

■ 2025 年第 40 回日本管打楽器コンクール 規約

第一章 総則

(名称)

第 1 条 このコンクールの名称は「日本管打楽器コンクール」と称し、西暦年度と通算回数を冠する。略称 J W P C (JAPAN WIND AND PERCUSSION COMPETITION) と称する。また、このコンクールは毎年開催する。

(主催)

第 2 条 このコンクールは公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催し、運営本部は本公益財団事務局に置かれる。また本コンクール開催並びに参加者の演奏等に関するすべての権利は、公益財団法人日本音楽教育文化振興会に帰属する。

(目的)

第 3 条 このコンクールは管楽器及び打楽器の各分野において、国際的な視野に立ち、有能なソリストを発掘し、優秀な人材育成及びこのジャンルの啓発を目的とする。

(内容)

第 4 条 このコンクールは、各管打楽器の種類に属するフルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフォーン・トランペット・ホルン・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ・パーカッション・マリimbaの中から4部門を選び、すべての楽器部門にわたって開催する。

(運営委員会)

第 5 条 運営委員会は、組織・運営・予算等を諮り、責任ある開催運営を行う。

2 本コンクール開催にあたり、社会情勢並びに音楽界の趨勢を洞察し、運営委員長のもと優れた理念による運営を図れる運営委員を選出する。

3 運営委員会は、円滑なコンクール運営を図るため、運営委員より実行委員長並びに実行副委員長の選出を行う。

4 運営委員会は、厳正なる審査・検討のもと各部門審査委員長の選出を行う。

5 各部門審査委員の選出について、各部門審査委員長は各部門審査委員候補を推薦し、運営委員会において厳正なる審査・検討を行い、各部門審査委員の選出・決定を行う。

6 各部門課題曲の選考等について、各部門審査委員長は運営委員会にて了承を得る。

(運営実行委員)

第 6 条 運営委員会は、必要と判断した楽器部門の場合のみ、円滑なコンクール運営を図るため、その楽器部門における専門知識を有する者を選出し、実行委員とする。

(各部門審査委員長)

第 7 条 優れた各部門審査委員長の選出は運営委員会で行う。選出された各部門審査委員長は運営委員会との連携により、各当該年度の運営委員会構成メンバーとして、開催年度の楽器部門の責任ある運営にあたる。

(特別協力)

第 8 条 このコンクール開催にあたり特別協力である大学及び専門学校を選出し、開催時の会場提供と運営協力を依頼する。2年前の依頼を原則とする。特別協力の依頼の際は、開催年度・開催楽器部門の特性を考察し、特定の大学及び専門学校関係者に偏ることのない審査委員選出を行う。尚、運営委員及び審査委員長は各特別協力開催会場でのコンクール開催期間の運営の責任を有する。

第二章 参加及び出場

(参加資格)

第 9 条 このコンクールの参加資格は、年齢が1987年4月2日以降、出生の者とする。但し、このコンクールで過去に第1位入賞者の参加は認められない。

(申込方法)

第 10 条 このコンクールの参加者は、郵送・オンラインのいずれかの申込みに規定事項を記載し、生年月日が証明できるものを添付して、公益財団法人日本音楽教育文化振興会内日本管打楽器コンクール事務局宛に、期日までに申込みをしなければならない。(締め切り日の消印まで有効。)

(参加の承認)

第 11 条 前条で規定した書類到着次第、事務局より定員内外の通知を行う。定員内であれば、参加希望者は通知到着後、7日以内に参加料35,000円を支払わなければならない。その到着を以て参加を承認したものとする。申込み後、参加を取り消す場合があっても、払い込まれた参加料は返却しない。

(出場者カードの発行)

第 12 条 申込書及び申請書類・参加料の送付により、参加承認がなされた後、運営委員会の決定による受付番号・出演番号・集合時間・演奏時間等を記載した出場者カードを発行し参加者に通知する。

(演奏日時の通知)

第13条 演奏日時は締め切り後、参加者に通知する。

(参加者の義務)

- 第14条 参加者は運営委員会より指定された日時並びに開催楽器部門会場の所定の場所に出場者カードを持参し、伴奏者同伴にて集合しなければならない。また事情により棄権する場合は、事前にその旨連絡を要する。
- 2 本コンクールにおける外国語による通訳の用意は行わない。尚、通訳を必要とする場合は参加者が用意し、必ず演奏規定を遵守することを要する。
 - 3 マリンバ部門はコンクール期間に提供する楽器とその音盤破損費用として参加者一人あたり、別途2,000円を第一次予選の際に支払わなければならない。

(旅費及び滞在費)

第15条 参加地への往復旅費及び滞在費は参加者の個人負担とする。

(演奏順序)

第16条 演奏の順序は、運営委員会で決定する。

(演奏規定)

- 第17条 演奏に関するすべての手段は、運営委員会の指示により行う。運営委員会で指定された演奏箇所を必ず演奏する。その際、演奏規定に違反した場合は失格とする。また、申込み後の課題曲・選択曲の変更は認められない。
- 2 演奏に当たっては、伴奏者も同様に注意事項並びに演奏前の確認を要する。

(演奏曲目)

第18条 演奏曲目に関しては、運営委員会の承認により決定する。

(審査)

第19条 演奏の審査は運営委員会で定めた審査規定により行う。

第三章 審査規定

(運営実行委員長・運営実行副委員長・各開催楽器部門審査委員長・各開催楽器部門審査委員の義務)

- 第20条 運営実行委員長及び運営実行副委員長は、開催楽器部門のすべてを統括・把握し、運営及び審査の指導を行う。
- 2 開催楽器部門審査委員長は、開催楽器部門において公正な審査運営を義務付け、その責任を負う。
 - 3 審査委員は原則として、開催楽器部門審査委員長を含む7名により構成され、第一次予選・第二次予選・本選の審査にあたり、参加者の入賞・入選の選出にあたる。開催楽器部門の審査委員は第一次予選・第二次予選・本選の全出場者の審査を行わねばならない。(但し、外国より招聘する審査委員については、第二次予選より審査に加わる場合がある) また審査委員は審査権を放棄することは出来ない。
 - 4 特別大賞演奏会の審査委員は、開催楽器部門審査委員長、特別審査委員として選出された若干名の音楽有識者の構成により行われ、特別大賞者の選出にあたり、表彰式に出席するものとする。

第四章 表彰

(表彰)

第21条 表彰に関しては、審査発表時に公表され、各官庁からの表彰状並びに関係団体・審査委員からの特別表彰が行われ、賞金については、各部門に第1位70万円、第2位30万円、第3位10万円、入選者2名に5万円を授与する。本選に出場した者には、各部門に審査委員署名の賞状を贈呈する。

(特別大賞演奏会及び表彰式)

第22条 本コンクール最終にあたり、入賞者の表彰並びに関開催楽器部門第1位入賞者のため、入賞者特別大賞演奏会を開催する。

(付則)

- 一. 本コンクールの入賞者が、当該年度の外部への出演をする場合は、特別大賞演奏会及び表彰式開催日を含む向う1年間は本財団に事前の許可を得なければならない。
- 一. 本コンクールに伴う演奏に関わるすべての権利は、主催者の公益財団法人日本音楽教育文化振興会に帰属するものとする。また主催者がこれを利用することについて異議を述べることはできない。
 1. 演奏の録音・録画・撮影をすること。
 2. 録音・録画をラジオ・テレビ等での放送をすること。
 3. 録音・録画を主催者ホームページにて掲載・紹介すること。
- 一. 本規約に関し、開催・運営・すべてに関わる変更がある場合は、運営委員会に諮り、理事会の了承を得る。
- 一. この開催要項に関して発生する問題は、日本語の本要項に基づき、かつ日本の法律に準拠して解決される。
- 一. 外国語翻訳による規約条件に関して疑義が生じた場合は、日本語によるものが正文とする。
- 一. 開催期間に自然災害(台風等)など不測の事態が発生した場合は、直ちに運営委員会で検討し速やかに対応する。

■課題曲について

●サクソフォーン部門

◆第一次予選

下記の課題曲を No.1、No.4 の順序で演奏すること。

<課題曲>

E.Bozza : 12 Études-Caprices より No.1、No.4 [出版社 : Alphonse Leduc]

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆第二次予選

課題曲審査の結果後、通過者のみ選択曲審査へ進めるものとする。

<課題曲審査>

F.Schubert : Sonate arpeggione en la mineur D821 pour saxophone alto et piano より 第 1 楽章

[出版社 : Gérard Billaudot Éditeur]

※繰返し無し。

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

<選択曲審査>

下記の選択曲の中から 1 曲を選び演奏すること。

① W.Albright : Sonata [出版社 : Edition Peters]

② E.Denisov : Sonate [出版社 : Alphonse Leduc]

③ F.Decruck : Sonate en ut# [出版社 : Gérard Billaudot Éditeur]

※パート譜バージョンはどちらとも使用可とする。

④ A.Desenclos : Prélude, Cadence et Finale [出版社 : Alphonse Leduc]

⑤長生淳 : 天国の月 [出版社 : 全音楽譜出版社]

⑥西村朗 : 水の影 [出版社 : 全音楽譜出版社]

⑦野平一郎 : Arabesque III [出版社 : Editions Henry Lemoine]

⑧棚田文紀 : Mysterious Morning III [出版社 : Editions Henry Lemoine]

⑨吉松隆 : Fuzzy bird sonata [出版社 : Gérard Billaudot Éditeur]

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆本 選

H.Tomasi : Concerto pour saxophone alto et orchestre 全楽章 [出版社 : Alphonse Leduc]

「注意事項」

・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。

●ホルン部門

◆第一次予選

<課題曲>

W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr. 2 Es-Dur KV417 より 第 1 楽章 [出版社：指定なし]

※第 21 小節から第 117 小節の 1 拍目まで演奏すること。

「注意事項」

- ・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。
- ・使用楽器は、HighF HighEs HighB その他のディスクラント管を組み込んだ楽器を使用してはならない。

◆第二次予選

下記の課題曲と選択曲の中から 1 曲を選び、課題曲選択曲の順序で演奏すること。

<課題曲>

L.Cherubini : 2 Sonaten für Waldhorn und Streichorchester より II .Sonate [出版社：指定なし]

<選択曲>

- ① P.Dukas : Villanelle pour Cor et Piano [出版社：指定なし]
- ② E.Bozza : En Forêt pour Cor en Fa et Piano [出版社：指定なし]
- ③ H.Busser : La Chasse de Saint-Hubert op.99 [出版社：指定なし]

「注意事項」

- ・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。
- ・使用楽器は、HighF HighEs HighB その他のディスクラント管を組み込んだ楽器を使用してはならない。

◆本 選

R.Strauss : Konzert für Horn und Orchester Nr 2 . Es-Dur 全楽章 [出版社：指定なし]

「注意事項」

- ・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。
- ・使用楽器は、HighF HighEs HighB その他のディスクラント管を組み込んだ楽器を使用してはならない。

●ユーフォニアム部門

◆第一次予選

<課題曲>

J.S.Bach：無伴奏フルートのためのパルティータ BWV1013 より（移調版）Allemande, Corrente

[出版社：Kazenone Music Publishing]

※繰返し無し。アーティキュレーションに関しては任意とする。

※ Allemande 最後の小節内は任意で音域の変更を認める。ただし音の変更は不可。

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆第二次予選

下記の課題曲と選択曲の中から1曲を選び、課題曲選択曲の順序で演奏すること。

<課題曲>

J.Reeman：Sonata for Euphonium [出版社：Studio Music]

<選択曲>

① E.Ewazen：Sonata for Euphonium and Piano [出版社：Theodore Presser Company]

② A.Roper：Sonata for Euphonium [出版社：Studio Music]

③ D.R.Gillingham：Sonata for Euphonium and Piano [出版社：C.Alan Publications]

④ M.Ellerby：Sonata for Euphonium and Piano [出版社：MEM Publications]

⑤ A.Girard：Sonate pour euphonium ou saxhorn et piano [出版社：Gérard Billaudot Éditeur]

⑥伊藤康英：ユーフォニアムとピアノのためのソナタ [出版社：Studio Music]

※繰返し無し。

⑦ J.Stevens：Sonata for Trombone (or Euphonium) and piano [出版社：Editions Bim]

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆本 選

K.Jenkins：Euphonium Concerto 全楽章 [出版社：Boosey&Hawkes]

※重音奏法については、各自で工夫して演奏すること。

「注意事項」

・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。

●パーカッション部門

◆第一次予選

下記の課題曲①②③の順序で演奏すること。

<課題曲>

- ① J.Delécluse : Test-Claire pour Caisse claire seule [出版社 : Alphonse Leduc]
- ② B.Lyloff : Etude for Snare Drum Arhus Etude no. 9 [出版社 : Edition Wilhelm Hansen]
※繰返し無し。
- ③ M.Goldenberg : Modern School for Xylophone Marimba Vibraphone より 56 ページ Melody [出版社 : Chappell/Alfred (改訂版)]
※ Xylophone で演奏すること。手順は自由とする。テンポは Andante と記されているが ♩ = 96 で演奏すること。

「注意事項」

- ・小太鼓（1台のみ）は各自で持参し、Xylophone は主催者側が用意したものをを使用すること。
- ・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆第二次予選

下記の課題曲と選択曲の中から1曲を選び、課題曲選択曲の順序で演奏すること。

<課題曲>

M.Cals : Quatre Inventions 全楽章 [出版社 : Alphonse Leduc]

※第2楽章においては、Xylophone 使用でも可。Marimba (5oct.) のみ使用でも可。

<選択曲>

- ① E.Carter : Eight Pieces for Four Timpani [出版社 : A.M.P/Hal Leonard] ※ No.4, No.1, No.8 の順序で演奏すること。
- ② P.Nørgård : I Ching より II, IV [出版社 : Edition Wilhelm Hansen]
- ③ 石井真木 : Thirteen Drums Op.66 [出版社 : Moeck/Mannheimer Musikverlag]
- ④ K.Stockhausen : Nr. 9 Zyklus [出版社 : Universal Edition]
- ⑤ 福士則夫 : ソロ・パーカッションのための「グラウンド」 [出版社 : 音楽之友社]
- ⑥ 北爪道夫 : Side by Side [出版社 : 全音楽譜出版社] ※改訂版も使用可とする。
- ⑦ I.Xenakis : Psappha [出版社 : Salabert Editions]
- ⑧ E.Kopetzki : Canned Heat [出版社 : Southern Music] ※繰返し無し。
- ⑨ I.Xenakis : Rebonds [出版社 : Salabert Editions] ※ a, b を演奏すること。
- ⑩ 山口恭範 : Conundrum for 9 Tom-toms [出版社 : 東京ハッスルコピー]
- ⑪ K.Volans : She Who Sleeps With A Small Blanket [出版社 : Chester Music]

「注意事項」

- ・大型楽器に関しては主催者側が用意したものをを使用すること。
- ・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆本選

A.Jolivet : Concerto pour Percussion & Orchestre 全楽章 [出版社 : Salabert Editions]

「注意事項」

- ・大型楽器に関しては主催者側が用意したものをを使用すること。
- ・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

公益財団法人日本音楽教育文化振興会

日本管打楽器コンクール事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-15-9

TEL 03-3814-2977 FAX 03-3814-3302

www.jmecps.or.jp/ E-mail: jmecps@jmecps.or.jp

2025 年 第 40 回日本管打楽器コンクール 申込書

※の欄は記入しないこと

2025 年 月 日

※受付番号	参加部門	Sax.	Hr.	Euph.	Perc.	(○で囲むこと)	
	フリガナ				性別	国籍	
参加者写真 (50mm×40mm) 申し込み時に 貼付すること	氏名						
	生年月日	西暦	年	月	日生	歳	
	現住所 〒						
	TEL						
E-Mail							

コンクール開催中の連絡先	
TEL	携帯

現在の勤務先又は学校名	出身学校名 (外国を含む) 年卒業 (西暦で記入のこと)
-------------	-------------------------------------

下記の部門について必要事項を記入のこと。			
●サクソフォン部門		●ユーフォニアム部門	
第二次予選：選択曲 【 】 (番号を記入)		第二次予選：選択曲 【 】 (番号を記入)	
●ホルン部門		●パーカッション部門	
第二次予選：選択曲 【 】 (番号を記入)		第二次予選：選択曲 【 】 (番号を記入)	

参加者音楽歴

伴奏者写真 (50mm×40mm) 申し込み時に 貼付すること	フリガナ		性別	国籍
	伴奏者 氏名			
	現住所 〒			
	TEL	携帯		

- (注意) 1. 申し込み後の選択曲の変更は認めません。
2. 提出伴奏者の変更があった場合は伴奏者変更申請書を提出すること。
3. 参加当日、棄権の場合はご連絡下さい。

2025 年 第 40 回日本管打楽器コンクール 伴奏者変更申請書

※変更があった場合、郵送にて送付をして下さい。

2025 年 月 日

部門	受付番号	参加者氏名

変更前

伴奏者氏名	
-------	--



変更後

伴奏者写真 (50 mm× 40 mm) 申し込み時に 貼付すること	フリガナ		性別	国籍
	伴奏者 氏名			
	現住所 〒			
	TEL		携帯	

備考欄

--

(注意) 参加当日、棄権の場合はご連絡下さい。